



町立さくら保育園 閉園特集

さくら色の思い出
永遠に

町立さくら保育園は、昭和38年5月、軽舞地区にある正楽寺の住職である金光昇允氏を園長に、正楽寺本堂を園舎として、農繁期の短期保育を目的とした季節保育園として開設されました。昭和41年から、要保育児童の福祉を目的とした、へき地保育所に移行され、その後昭和46年現在の場所（独立園舎が建設されました。平成11年の園舎の大規模改修を経て、これまでに400人を超える園児が、巣立って行きました。

静寂な寺社林と豊かな田園風景に囲まれたさくら保育園では、保育士や保護者そして地域の皆さまに優しく見守られながら、子どもたちの歓声が響き渡る地域コミュニティの役割を担い、開園間もない頃には、50人を超える園児が在園し、たいへんな賑わいだった時期もありました。

その後の社会情勢の変化とともに、園児数は次第に減少し、平成28年には園児数が7人となり、地域における過疎化と少子化が進むなか、今後の園児の増加も見込まれず、また、上厚真地区に新しく保育所が建設され、平成28年度に開園が予定されています。

ひとのうごき

3月31日現在 ()内は前月比



人口 4,659人(-5)

男 2,282人 女 2,377人



世帯数 2,144世帯(+5)

3月1日～3月31日届出分

※窓口などで、広報紙への掲載についての確認ができた方を掲載しています

みなさんの声をお聞かせください

- ・こんな記事を読んでこう思った。
 - ・こんな疑問をもっている
- など、どんなことでも結構です。

※紙面は無記名ですが、住所や氏名、年齢は伺います。

まちづくり推進課企画調整グループ
☎ 27-3179 FAX 27-2328

「広報あつま」はホームページでもご覧いただけます

<http://www.town.atsuma.lg.jp/>

広報あつまの電子書籍はこちらから。
www.hokkaido-books.jp

北海道内のすべてがそろった「電子書籍」ポータルサイト「ホッカイドウ イーブックス」

Hokkaido books

ホッカイドウ イーブックス実行委員会(株式会社 須田製版 内) Tel.011-621-1000(代表)



広報あつま

2017年 4月号
平成29年

もくじ
CONTENTS

- 2 ひとのうごき
- 3-7 さくら保育園閉園特集
- 8-9 平成29年第1回定例町議会
- 10-12 お知らせ
- 13 町職員の人事異動
- 14 後期高齢者医療制度
- 15 第4回フォトコンテスト結果
- 16-17 3月のあつま
- 18-19 厚真高校通信
- 20 遺跡作業員募集
- 21 グルグルリパブリック
- 22 温室効果ガス排出量実績など
- 23 健康情報
- 24-25 保健の掲示板
子育て支援センター
- 26-27 防災コラム、防災ページ
- 28-29 情報ひろば

今月の表紙
COVER

平成28年度で軽舞地区にある町立さくら保育園（金光朋充園長）が閉園しました。
この写真は園庭にある桜の木の下で、最後の園児となった7人と園長、保育士で撮影したもの。
今月は5ページに渡って、さくら保育園について特集しています。



53年の歴史

Since 1963

さくら保育園



第一期生の園児たち

昭和38年 厚真町初の季節保育園として開園

昭和41年 へき地保育所として運営

昭和46年 新園舎落成



新園舎(昭和46年)

昭和59年 プール導入



プール遊び(昭和63年)

平成11年 改修工事



お遊戯会(平成24年)

平成29年 閉園式典



正楽寺で修了式(昭和39年)



スイカを頬張る園児(昭和49年)



桜の木の下で(昭和46年)



軽舞小学校で運動会(昭和63年)



秋の遠足(平成元年)



神社祭り(平成9年)



改装開園式(平成11年)



御稚児行列(平成28年)



最後の園児7人と保護者(平成28年)



主任保育士
大坪 千鶴さん
昭和63年に着任



2代園長
金光 朋充さん
平成12年に就任

さくら保育園 園長×主任保育士
いつか何かの役に立ちますように

大坪 私がさくら保育園に着任した頃は、建物の壁はベニヤ板でしたし、保育園にしてはちよっと…(笑)。だから、園児の作品を飾って明るくしていました。金光 隙間風もひどかったよ。冬はかなり寒かったよね。大坪 屋外のプールに屋根がなかったのが印象に残っています。虫がたくさん入ってきて大変でした。水溫がわからないので、一緒にプールに入って寒くないか確認しないといけなくて。でも、しばらくすると保護者がビニールハウスを建ててくれたんです。金光 基本的に保護者の人がいろいろしてくれてたよね。大坪 そうですね。夏のバス遠足も保護者が海に連れてってくれて、沖に行かないようロープをもってずっと立ってくれました。保護者会の皆さんが、とても協力的で、何度も感動しました。大坪 当時の京町保育園に入れない子どもが市街地から通うことがあったんです。が、希望して通ってくれる子どももいました。わざわざさくら保育園に通いたいって言うってくれるのは嬉しいかったですね。金光 さくら保育園は自然に恵まれているところが自

慢だよね。周りを見渡しても田んぼと山しかないもんね。大坪 お散歩コースが特に素晴らしいです。色んな生き物に会えるんです。ちよっと歩けば豚や牛、馬がいました。田んぼにはサギが飛んできて、のぞけばヤゴやオタマジャクシ、カエルがいました。ダチョウがいたこともありましたね(笑)。金光 街灯の横のヒバの木にはクワガタが来てたよね。大坪 子どもたちよりも私の方が興奮しましたね(笑)。お泊まり会では朝方にリスが通ったり。つい去年はイタチが走ってましたよ。金光 園内をカメが歩いていたりしたこともあったよね。都会に住む子どもたちは、なかなかできない経験かもしれないね。大坪 私は子どもの頃、幼稚園に通っていたんです。ど、ほとんど記憶に残っていません。でも、浄水場に行くとオタマジャクシを捕まえたのは覚えているんです。楽しいと思うことや、好きなことは、みんな違うんです。外で遊んだこと、プールで遊んだこと、お遊戯会に出たこと、運動会でメダルもらったこと…。だから、いろいろなことをできるだ

け多く体験させたいと思って。その中で、この子はこれが好き、というのを見つけてあげていましたね。金光 大坪先生は、本当に子どもが好きだもんね。よく一人ひとりを見ているよね。大坪 園児は全員自分の子どもだと思って接していました。一人ひとりと真剣に向き合って、怒ったり泣いたり。金光 保護者が迎えに来てくれるのに「帰らない」って駄々をこねる園児もいたよね。大坪 お遊戯会は、みんながキラキラできる役を1年前から考えてました。金光 主役じゃない子にも上手に配役してたよね。先生たちは褒めるのも上手なんだよね。大坪 褒めるというより、「いいな」と思ったことは子どもたちに直接伝えるようにしていました。そうすると子どもたちが自信を持つようになるんです。私たちが先生や保護者を笑顔にするために、頑張っているようにも見えましたね。それはそれは可愛くて…(笑)。金光 こっやって思い返しても、大坪先生にはお世話になりましたね。大坪 いえいえ、園長先生

が私たちにお任せしてくれたおかげで、私たちは自由にできたんですよ。金光 初代園長(故 金光昇氏)が、耳も遠くなってきた、園長をこなすのが難しくなった時に、僕に2代目園長の打診があった。僕は仕事も忙しくて行けないこともあったし、子どものことは素人だから、何度も断ったんだけど、当時の自治会長に懇願されて…最終的には、「大坪先生がいるから大丈夫」と言われてね。本当にその通りだったよ。大坪 さくら保育園に勤めて25年っていうと、長いようですが、本当にあつという間でした。さくら保育園の思い出は、どれも楽しいもので、私の宝物です。金光 さくら保育園はなくなってしまうけれど、育ったこの場所を忘れないでほしいね。大坪 さくら保育園を卒園したみんなの成長した姿を見られるのが楽しみです。ね。そして、さくら保育園での経験がいつか、何かの役に立てば嬉しいです。金光



ありがとう、さくら保育園
卒園生からのメッセージ



昭和38年
卒園



まつだ みちあき
松田 伯明さん(59歳)

私が通っていた中学校、小学校と閉校になり、ついに保育園までも閉園になってしまいました。時代の流れではありますが寂しいものがあります。私は、昭和38年入園の第1期生。地域の人たちの熱心な運動により開園になったと聞いています。

当時は寺の本堂が保育園。昼寝は庫裏との渡り廊下でした。外は木々に囲まれた中で遊んでいました。送り迎えは父や中学生の叔母。中学生になれば、父や私や妹が弟を。今では考えられませんが、迎えが遅くなると歩いて帰っていました。

今まで保育園を支えていただいた多くの皆さまに感謝を申し上げます。

昭和49年
卒園



かわむら としひろ
河村 敏弘さん(48歳)

さくら保育園。春になるとたくさんの桜に囲まれていた保育園。53年の歴史に幕が閉じられるというのは、とても寂しい気持ちでいっぱいです。かなり昔の出来事です。ほんの一部しか記憶はないですが、最初は正楽寺の本堂で遊んでいたことが思い出されます。

その中でも、現在の園舎を建てていた時に来ていたミキサー車は鮮明に覚えています。

自分も大変お世話になりましたが、息子たちもこの保育園に育てられ今では社会人になっています。この保育園には自分が園児の時の思い出プラス保護者としての思い出もたくさん詰まっています。さくら保育園は無くなりますが、自分にとって自慢の保育園です。

昭和59年
卒園



きたじま さとし
北島 誠視さん(38歳)

厚真で最も古い、半世紀以上続いたさくら保育園が閉園となりました。最後の3年間を保護者会長として接する事ができた事を誇りに思っています。自分が園児であった頃も今も、地域に愛され子どもたちがのびのびと健やかに過ごせる素晴らしい保育園でした。また、少人数の保育園であった事から全園児が主役となり先生たちからも手厚く保育して頂きました。

園長先生をはじめ歴代保育士の先生たち、地域の方、園児数が少なくなってもさくら保育園の意義にご理解いただき、存続させていただけた厚真町にも本当に感謝しています。ありがとうございました。

平成6年
卒園



にわ なつみ
丹羽 菜摘さん(28歳)

私がさくら保育園に通園している頃は、まだリフォームされる前の園舎で、子どもながらに怖かった印象があります。春には花まつり、秋には軽舞小学校との合同学芸会。その他にも行事はたくさんありましたが、地域の人が見に来る緊張の行事でした。

卒園してもお世話になった先生方や保護者の方が厚真町にいらっしゃるの声をかけていただく機会があり、恥ずかしくもあり、嬉しくもあります。いろいろな人に見守られながら育ったのだなと感じています。さくら保育園の先生方、保護者の皆さま、これまでありがとうございました。



①宮坂町長から感謝状受け取る金光園長 ②5年以上勤続した保育士たち ③おいしい食事を味わいながら再会を楽しむ出席者 ④⑤映写されたスライドショーに涙ぐむ姿も ⑥思い出話を懐かしむ地域の方々 ⑦多くの卒園生と保護者が出席 ⑧最後の園児7人による楽器演奏



閉園式典
惜別の会

3月26日、町立さくら保育園（金光朋充園長）の閉園式典が正楽寺で行われました。卒園生や地域住民など約130人が出席し、これまでの思い出を胸に別れの時を惜しましました。式典で宮坂町長は「地域の皆

さんの熱い気持ちをくんで園が立ち上がったこと、厚真町で一番最初の季節保育所として産声を上げた歴史を考えると、地域の熱い気持ちが子どもたちを大きく育てたのではないかと思います。これまでの皆さまのご尽

力に感謝します」とあいさつ。式典終了後、惜別の会が行われ、歴代保育士に感謝状を贈呈。その後、歴史を振り返るスライドショーや最後の園児による楽器演奏が披露され、出席者は最後のひと時を楽しみました。